

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月20日更新

事務事業名	水援隊活動事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画	政策	4	生活環境の健康	所属部	市民生活部	課長名	上村 祐一郎
体系	施策	19	水環境の保全	所属課	環境衛生課	担当者名	小野 幸介
	施策の柱	59	地下水のかん養と河川、池沼の汚染防止	所属班	環境衛生班	(内線)	1143
予算科目	会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 10209	根拠法令	合志市の河川を美しくする条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成4年、合志市の河川を美しくする条例の施行に伴い開始した。水援隊員による河川の水質及び河川環境の監視、水援隊会議、水援隊研修を実施している。
【業務の流れ】	水質検査、測定結果の公表、開催通知、会議の開催、研修会参加、報酬費の支払い事務
【主な予算費目】	報償費、需用費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	水援隊が実施する河川の水質及び河川環境の監視、水質検査、測定結果について水援隊会議における報告を行った。また、報償費の支払い事務を行った。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 会議開催等回数	→ イ:	パッケージの価格改定による消耗品費の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市内の河川	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 本
		→ ア: 河川数
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	河川の監視を行う(汚染を防止する)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 回
		→ ア: 河川の事故数
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と4年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
河川の事故が発生しないことが重要であり、成果指標を「河川の事故数」とし、目標値を「0回」と設定した。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度実績(決算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	5年度予定	6年度見込	7年度見込	
① 活動指標	ア	回	1	0	2	0	2	2	2	2	
	イ										
② 対象指標	ア	本	4	4	4	4	4	4	4	4	
	イ										
③ 成果指標	ア	回	0	1	0	0	0	0	0	0	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	321	336	328	304	313	350	350	350
		(A) 事業費計	千円	321	336	328	304	313	350	350	350
		(A)のうち指定経費	千円	250	0	0	0	0	250	250	250
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	5	5	2	5	5	5	5
延べ業務時間	時間	140	168	250	30	250	250	250	250		
(B) 人件費計	千円	554	662	996	117	996	996	996	996		
トータルコスト(A)+(B)	千円	875	998	1,324	421	1,309	1,346	1,346	1,346		

事務事業名	水援隊活動事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 河川に関する事故等は発生しなかった	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 目標値は「河川の事故数」のため、事故が発生しないよう監視等努めることで目標達成の見込みあり。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 河川事故数「0件」が成果であるため、向上余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 条例で定められた報酬額である	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 会議開催通知・会議資料作成・会議開催に伴う事務であり削減は難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市内の全ての河川を対象としており、公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 会議開催通知・会議資料作成・会議開催に伴う事務であり適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

水援隊員による河川の水質検査等を実施し河川環境の監視に努めた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					